

市議報 2022 丸山哲平 市議会 報告

2022年10月発行



国分寺市議会議員 丸山哲平です。9月1日から9月29日まで市議会第3定例会が開催されました。本定例会では令和3年度の決算審査があり、一般会計・特別会計全てが可決・認定されました。また補正予算として、2023年4月より所得制限なしでの高校生等の医療費無償化に向けた準備、市内事業者の方々に対する燃料費助成等の予算等が可決されました。

今回は決算概要と私が行った一般質問の要旨等を中心にお伝え致します。

プロフィール：1981年5月26日生まれ 家族：妻、長女、長男
 みふじ幼稚園、国分寺市立第五小学校、国分寺市立第一中学校、
 早稲田大学高等学院、早稲田大学法学部、三井物産株式会社、松下政経塾(32期生)を経て、
 2015年4月より国分寺市議会議員(現在2期目)
 所属：新庁舎建設等特別委員会(委員長)、建設環境委員会、議会運営委員会

令和3年度一般会計・特別会計決算が全て認定されました。

決算概要

*決算の詳細については市報・市HPもご参照下さい。

一般会計決算	総額：593億6,647万95円
特別会計決算	総額：232億2,853万7,288円
合計	総額：825億9,500万7,383円

- ・**経常収支比率**は前年度の93.4%から**94.3%**と**0.9%悪化**。財政の**硬直化傾向**が見られる。
- ・市税収入は個人市民税で約9,900万円、法人住民税で約8,700万円、固定資産税で約1億3,600万円減少し、昨年度比で**市税全体で約2億9,700万円の減収**。(増減率**-1.2%**)
- ・市民生活に直結する**民生費は支出額で約261億円**と**昨年度比で10.1%増加**。主な要因は住民税非課税世帯等への臨時特別給付金、子育て世帯等への特別支援事業、保育所入所に要する経費増加等によるもの。
- ・プレミアム付商品券事業に伴い**商工費は約11億5千万円**、昨年度比で**205.6%増加**。
- ・ふるさと納税に伴う**財源流出額は約5億5千万円**。大きな課題。(R4年度予想は約6億9千万円)

決算に対する丸山哲平の主な質疑 「市政に経営感覚を」の観点で問いました

①経営分析手法の導入で既存事業の見直し・持続可能な市政実現を

H28年度から企業会計に準じた決算書類(貸借対照表等)を作成しているが、現状その活用は不十分。当市の置かれた状況をより客観的に把握すべく資産バランスがわかる負債比率等の指標を活用、市政経営に役立てるべき。また資産を時価評価するなどし、その有効活用も検討すべき。→(答弁)取組んで参る。

②職員採用と人員管理について

多様な採用方法(中途採用等)が増え、年齢のみで職歴・能力を判断することが難しくなっている。役職定年等の職員入れ替わりの際、市民サービスに支障をきたすことがないよう、適切な人員確保が出来るか、職員課で職員全体の能力・定数管理を徹底する手法を導入すべき。→(答弁)今後検討して参る。

国分寺市 新型コロナウイルス関連情報はこちら

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1008592/1022636/index.html>



SNSにて日々の活動を発信中!

Follow me!

リクエスト・フォローを宜しくお願いします!

facebook



Instagram



twitter



令和4年(2022年)度第3回定例会 丸山哲平 一般質問 (要旨)

新庁舎移転を機会に抜本的な業務改革推進を

丸山 新庁舎建設については目下ハード面において先進的なレイアウト案が提示されるなど具体的な進展・報告がある。一方、これに対応する働き方やスペース活用法については明確になっていない。市役所のように歴史があり、組織文化の強い場所では自然に任せては仕事のやり方は変化しない。**市民サービスをより向上させるため、今こそ抜本的な働き方改革を行うべきであり、そのためには市役所内に留まらない民間・外部人材の活用や、専門組織を立ち上げるなどし改革を進めるべきと考えるがどうか。**

政策部長 民間知識と経験を取り入れることは非常に重要と認識している。議員提案の通り期間限定での専門組織を立ち上げる等、様々な方策を検討して参りたい。

職員の資格取得奨励で全体のレベルアップを

丸山 以前より一般質問等で求めてきたところであるが、職員の意欲を促進し客観的にも能力を示すことが出来る**資格試験の助成を行うべき**。特に一般社会で当然のリテラシーである財務会計の知識を測る簿記検定や情報処理技術者試験は全ての職員に必要と考える。**今後行政のデジタル化がさらに進み、外部企業やサービスの活用も増えることが見込まれる中で職員の「目利き能力」を高めることは必須である。強く導入を求める。**
総務部長 どの職場でも役立つ基礎資格を多くの職員が取得するのは質の向上に資すると考える。他市の状況や実施課題等を含め今後検討して参りたい。

高齢者の見守りサービスについて

丸山 市内の単身高齢者が年々増加している。水道や電気等の生活機器を活用した**自動見守りサービス**、例えば水道が使われていない状況が1日続けば異変があったと家族へお知らせするサービスの助成を始めるべき。**近隣他市では既に助成が始まっている。**前向きな検討・実現を求めるがどうか。

福祉部長 遠方にお住まいのご家族からすれば心配が尽きない方もいると考えており、**見守りの重要性は高まっている**と認識。有用なサービスであり、議員提案内容につき検討して参りたい。

授業配信アプリの採用、学びの機会充実を

丸山 市内小・中学校の児童・生徒に一人一台のタブレット端末が貸与されている。現在、**教科書の持ち帰りが課題**となっているが、**デジタル教科書を推進することで解決が図れないか。**また子ども達の自学学習の環境をさらに良好なものにするため、他自治体では既に一部スタートしている**授業配信アプリの導入**を検討すべきと考えるがどうか。

教育長 持ち帰りについては、デジタル端末の活用、指導方法の開発を行う中で検討を深めて参りたい。授業動画配信アプリについてはさらに情報収集に努めて研究して参りたい。



TOPICS ① 国分寺市電子図書館がスタートしました。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中、図書館に来館しなくてもご利用頂ける**国分寺市電子図書館がスタート**しました。数年来私が議会において求めてきた事業でしたが、ようやく実現となります。これまで、仕事の都合や障害等で図書館利用が難しかった市民の方々にも幅広くご利用頂ければと思います。閲覧可能図書数はまだ多いとは言えませんが、今後取り扱い図書の充実や電子図書館としてのコンセプトを確立し、皆さんにとって親しまれる事業とすべく努めます。



国分寺市電子図書館

URL : <https://kokubunji-city-lib.overdrive.com>



TOPICS ② 2023年4月から所得制限なしで高校生等医療費が無償に。

本年10月から中学生までの医療費助成について所得制限が撤廃されましたが、これをさらに拡大し、**令和5年(2023年)4月より高校生等(18才以下)まで所得制限なしで医療費が無償化**されることとなりました。

お問い合わせ・連絡先 **丸山哲平 事務所**

〒185-0032 東京都国分寺市日吉町 2-20-9

TEL : 042-806-9813 FAX : 042-806-9877

E-Mail : info@teppei-maruyama.jp

HP : <http://www.teppei-maruyama.jp>

市議報 **丸山哲平** 市議会
報告

発行人 丸山哲平事務所